

# HKFA Technical Report

## 第22回 北海道クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 兼 第31回 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会北海道大会

### 開催日時及び結果

2016/6/18~7/10 (決勝戦)  
(全8日間日程)

コンサドーレ 札幌U-15	(1-0) (3-1) Total 4-1	コンサドーレ 旭川U-15
------------------	-----------------------------	------------------

### 会場

サングリンススポーツヴィレッジ  
(夕張平和運動公園)

### 報告者

宮永裕教 (HKFA TSG担当)

### TSGメンバー

小林 俊也 (HKFA U-16)  
寺島 徹(HKFA U-14)  
西村 祐紀(HKFA U-12)  
齊藤 正倫(HKFA GKP)  
宮永 裕教(HKFA TSG担当)

### (全国大会日程)

日時 8月15日(月)  
~24日(水)

場所 帯広の杜  
帯広市グリーンパーク  
中札内交流の杜



### 1 大会の概要 (主催者のインタビューより)

本大会は、北海道の3種クラブチームの頂点を決める大会に位置する。

雨の中の決勝戦となったが、力のある2チームの決勝であり、全国大会での活躍も期待される場所である。また、本大会の全国大会が帯広市で開催されており、北海道の選手・チームの強化につながっている。そして8月上旬に行われているインターシティーカップ(東日本)も次年度から開催されることが決定しており、今後北海道全体として選手・チームの強化に繋がればと考えている。

### 2 両チームへのインタビュー (試合前)

<コンサドーレ札幌U-15監督 森川拓巳氏>

とにかく全国に出ないことには選手が成長しないということはずっと言ってきたので、全国を手にするように、みんなで、やるのは君たちだからという言い方を常にしています。そういう中ではチームが一つになってきているのではないかと感じています。

サッカーに関しては、今までやってきたこと、練習でやってきたことと試合の中でできていることをより多く出して、旭川さんのほうは夏の全国は初めて出ることなので、アベック出場ということになるんですけど、それに関しては今日に関しては関係なく、この試合に関しては負けちゃいけないというのはミーティングでは選手に伝えました。

練習の中で常に意識しているのは、オフのところ。一つのボールに11人全員が関わる、攻守にわたってどういう風に関わっていくかということテーマにずっとやってきているので、そういうところを見ていただければいいかなと思います。



<コンサドーレ旭川U-15監督 柴田慎吾氏>

いつも通りたたかおうと思っていますし、選手にもそのように伝えました。

決勝戦だからとか、相手が札幌であるとか、そういう特別なことではなく、今まで自分たちがやってきたことに対してどれだけトライできるか。この試合も育成年代の成長の場として全力でプレイしようと伝えました。

### 3 ゲーム分析（成果・連動した守備）

両チームとも前線から積極的な守備の意識が高く、ボールを失った瞬間からボールを奪い返すこと、相手の攻撃を遅らせること、守備のポジションへの移動等が連動して行われていた。結果的に良い守備から良い攻撃が生まれ、実際に得点を奪うシーンも見られた。また、FWとDF（GK）の距離感も整えられていた。この年代であっても、11人がどの時間帯であれ守備の意識を高く持つことがスタンダードになっていることがうかがえるゲームとなっていた。

### 4 ゲーム分析（成果・意図的なビルドアップ→ポゼッション）

前線の選手を伺いながらのビルドアップが見られ、チャンスがあれば積極的に縦のボールを入れ、最終的に相手の守備ブロックをかいくぐりシュートまで持って行こうとする積極的な攻撃が何度も見られた。相手の状況からどこから攻撃を行っていくのかを観て判断できる選手が多く見られたのは大きな成果である。

ポゼッション成功数

前半	成功	失敗	Df.サード	M.サード	At.サード
札幌	23	42	10	25	7
旭川	17	45	17	23	5
後半	成功	失敗	Df.サード	M.サード	At.サード
札幌	14	67	33	31	3
旭川	17	56	24	30	2

スローイン成功数

前半	成功	失敗
札幌	11	4
旭川	11	3
後半	成功	失敗
札幌	7	11
旭川	7	13

札幌は意図的なビルドアップからM.サードへボールを運んでいたが、M.サードでボールを失うシーンも多かった。旭川は前半こそビルドアップ時に失うことが多かったが後半は崩しを試みるシーンも観られた。

スローインについては、北海道の共通課題として認識したい。

## 5 ゲーム分析（成果・GK）

札幌については、常にゲームに関わりを持ち続け、特にポジショニングでは左右だけでなく前後の位置取りを細かに修正し、前にも後ろにもプレーできる準備ができていた。コーチングでは、常に予測を持ち次の展開を有利に進めるための具体的な指示(サイドを攻略されている時のボランチへの指示)を出していた。ゲーム最後の失点は、コーナーキックを一度弾いた後の2本目のクロスボールを相手に合わせられた。プレー後のポジション修正や守備の再組織が課題と考える。

旭川は、シュートに対して良いタイミングで構え、際どいシュートにも反応していた。また、オフでの予測や準備に不足が観られ、カウンターを受ける局面でのポジショニングや、クロスに対する対応が遅れが観られた。

全体としては、オフザボールで良い準備をしながら、コーチングによりリスク管理ができていた。また、シュートストップやクロスの各局面において、良い準備から技術を適切に発揮してゴールを守るシーンが見られた。

## 6 ゲーム分析（課題・パスの精度）

強雨の影響から、グラウンドコンディションの問題もあったが、パスの精度については両チームともに不足しているスキルであると感じる。

プレッシャーのかかった場面でのミスパスや攻撃のスピードを止めてしまうパス、次の展開を意識していないパス、受け手の状況を考えていないパスなどが見られた。これらについては北海道全体の課題として今後も考えていきたい。

## 7 ゲーム分析（課題・サポートの質）

パスの軌跡のデータ集計からは、サイドでの縦パスが狙われ奪われている場面が多くあった。守備ブロックから守備の連動によりサイドでボールを奪う相手に対して、プレッシャーを回避するためのサポートの選手の準備が不足しているため逆サイドへの展開などができずボールを失っていた。味方同士の距離間やサポートのタイミング、次のプレーのための準備（観ておく）などの精度を高めることが必要であると感じた。

## 8 ゲーム分析（課題・GK）

パス&サポートの場面でイージーミスが観られた。また、ポジションの性質から1回のミスがゲームの流れを変えてしまうという意識を両チームともに持つことが出来たらと考える。また、事前のポジション取りや、左右両足でのキックの精度向上が望まれる。

全国大会を含め、今後に向けては、セカンドボールに対する準備をさらに向上できると良いと考える。



## 9 試合後のインタビュー

＜コンサドーレ札幌U-15監督 森川拓巳氏＞

攻守のオフの動きのところはずっと重点的にやっていることなので、1試合1試合試合を重ねるごとにどうしなければいけないのか、どうするのかというところは自分たちで考えられるようになってきたし、その時にかかる声というのも徐々に明確になってきていると思うので、今日に関しては非常に安心して見ていられたと思います。

あと、やっぱりプレミアの全国大会に行かせてもらって感じたところは、個の能力、個の技術の高さや低さというところで、札幌の選手のレベルはまだまだだなということを感じています。

＜コンサドーレ旭川U-15監督 柴田慎吾氏＞

全体的には札幌とこういう真剣勝負の場でプレイできたのは良かった。通用しなかった部分をこれからどれだけ修正していけるかだと思っています。また、単純にロングボールでおさめてからではなく、キーパー、センターバックから組み立てた中でどこから攻めるかをトライしているところだから、そこについてはもう一步だったと思います。前半は待ち構えているところにパスをしてしまっていたので、ボールを配球しながらもっと相手の嫌なところを探していこうという指示を出しました。日々の環境の中で、札幌は近くにユースもあるし、北海道を代表するチームでもあるので、毎日のトレーニングも厳しいしレベルも高い。ハイプレッシャーの中での技術やメンタルを持っていて札幌はそのなかでも慌てません。旭川は慌てるし、観るものも減ってしまう。これは日々の練習で積み重ねていくしかないと思っています。

## 10 まとめ

帯広市で行われる全国大会ということで、北海道のサッカー界として注目度の高い大会となった。その全国大会に出場することが決まり、北海道大会の決勝戦をたたかったコンサドーレ札幌・旭川の両チームは、悪天候の中でも決して手を緩めること無くチャレンジし続ける姿が光っており、大変好感が持てた。また、コンサドーレ札幌U-15については、全国大会においてベスト4進出という結果を残すことができ、北海道にとって素晴らしいトピックとなった。

最後に、Hafa/TSGの活動にご理解ご協力を頂いた両チームの関係者並びに、今大会の運営にご尽力頂いた北海道クラブユース連盟の方々に心から感謝申し上げます。

